

障害程度区分基準時間の推計方法について

障害程度区分基準時間の推計方法は、別表第一の調査票を用いた調査の結果(以下「調査結果」という。)に基づき、別表第二から第七の算定方法により算定される時間を合計した時間とする。

別表第一

1-1 麻痺等の有無について、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。(複数回答可)

1. ない	2. 左上肢	3. 右上肢	4. 左下肢	5. 右下肢	6. その他
-------	--------	--------	--------	--------	--------

1-2 関節の動く範囲の制限の有無について、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。(複数回答可)

1. ない	2. 肩関節	3. 肘関節	4. 股関節	5. 膝関節	6. 足関節	7. その他
-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

2-1 寝返りについて、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. つかまらないでできる	2. 何かにつかまればできる	3. できない
---------------	----------------	---------

2-2 起き上がりについて、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. つかまらないでできる	2. 何かにつかまればできる	3. できない
---------------	----------------	---------

2-3 座位保持について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 自分の手で支えればできる	3. 支えてもらえればできる	4. できない
--------	-----------------	----------------	---------

2-4 両足での立位保持について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. 支えなしでできる	2. 何か支えがあればできる	3. できない
-------------	----------------	---------

2-5 歩行について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. つかまらないでできる	2. 何かにつかまればできる	3. できない
---------------	----------------	---------

2-6 移乗について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 見守り等	3. 一部介助	4. 全介助
--------	---------	---------	--------

2-7 移動について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 見守り等	3. 一部介助	4. 全介助
--------	---------	---------	--------

3-1 立ち上がりについて、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. つかまらないでできる	2. 何かにつかまればできる	3. できない
---------------	----------------	---------

3-2 片足での立位保持について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. 支えなしでできる	2. 何か支えがあればできる	3. できない
-------------	----------------	---------

3-3 洗身について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 一部介助	3. 全介助	4. 行っていない
--------	---------	--------	-----------

4-1 じょくそう（床ずれ）等の有無について、あてはまる番号に○印をつけてください。

ア. じょくそう（床ずれ）がありますか	1. ない	2. ある
イ. じょくそう（床ずれ）以外で処置や手入れが必要な皮膚疾患等がありますか	1. ない	2. ある

4-2 えん下について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 見守り等	3. できない
--------	---------	---------

4-3 食事摂取について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 見守り等	3. 一部介助	4. 全介助
--------	---------	---------	--------

4-4 飲水について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 見守り等	3. 一部介助	4. 全介助
--------	---------	---------	--------

4-5 排尿について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 見守り等	3. 一部介助	4. 全介助
--------	---------	---------	--------

4-6 排便について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 見守り等	3. 一部介助	4. 全介助
--------	---------	---------	--------

5-1 清潔について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

	1. できる	2. 一部介助	3. 全介助
ア. 口腔清潔（はみがき等）	1	2	3
イ. 洗顔	1	2	3
ウ. 整髪	1	2	3
エ. つめ切り	1	2	3

5-2 衣服着脱について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

	1. できる	2. 見守り等	3. 一部介助	4. 全介助
ア. 上衣の着脱	1	2	3	4
イ. ズボン、パンツ等の着脱	1	2	3	4

5-3 薬の内服について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 一部介助	3. 全介助
--------	---------	--------

5-4 金銭の管理について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 一部介助	3. 全介助
--------	---------	--------

5-5 電話の利用について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

1. できる	2. 一部介助	3. 全介助
--------	---------	--------

5-6 日常の意思決定について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

- | | | | |
|--------|-----------------|-----------|---------|
| 1. できる | 2. 特別な場合を除いてできる | 3. 日常的に困難 | 4. できない |
|--------|-----------------|-----------|---------|

6-1 視力について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1. 普通（日常生活に支障がない） |
| 2. 約1 m離れた視力確認表の図が見える |
| 3. 目の前に置いた視力確認表の図が見える |
| 4. ほとんど見えない |
| 5. 見えているのか判断不能 |

6-2 聴力について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1. 普通 |
| 2. 普通の声がやっと聞き取れる |
| 3. かなり大きな声なら何とか聞き取れる |
| 4. ほとんど聞えない |
| 5. 聞えているのか判断不能 |

6-3-ア 意思の伝達について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1. 調査対象者が意思を他者に伝達できる |
| 2. ときどき伝達できる |
| 3. ほとんど伝達できない |
| 4. できない |

6-4-ア 介護者の指示への反応について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|-------------------|----------------|
| 1. 介護者の指示が通じる | 2. 介護者の指示がときどき通じる | 3. 介護者の指示が通じない |
|---------------|-------------------|----------------|

6-5 記憶・理解について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

ア. 毎日の日課を理解することが	1. できる	2. できない
イ. 生年月日や年齢を答えることが	1. できる	2. できない
ウ. 面接調査の直前に何をしていたか思い出すことが	1. できる	2. できない
エ. 自分の名前を答えることが	1. できる	2. できない
オ. 今の季節を理解することが	1. できる	2. できない
カ. 自分がいる場所を答えることが	1. できる	2. できない

7 行動について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

ア. 物を盗られたなどと被害的になることが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
イ. 作話をし周囲に言いふらすことが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
ウ. 実際にはないものが見えたり、聞えることが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
エ. 泣いたり、笑ったりして感情が不安定になることが	1. ない	2. ときどきある	3. ある

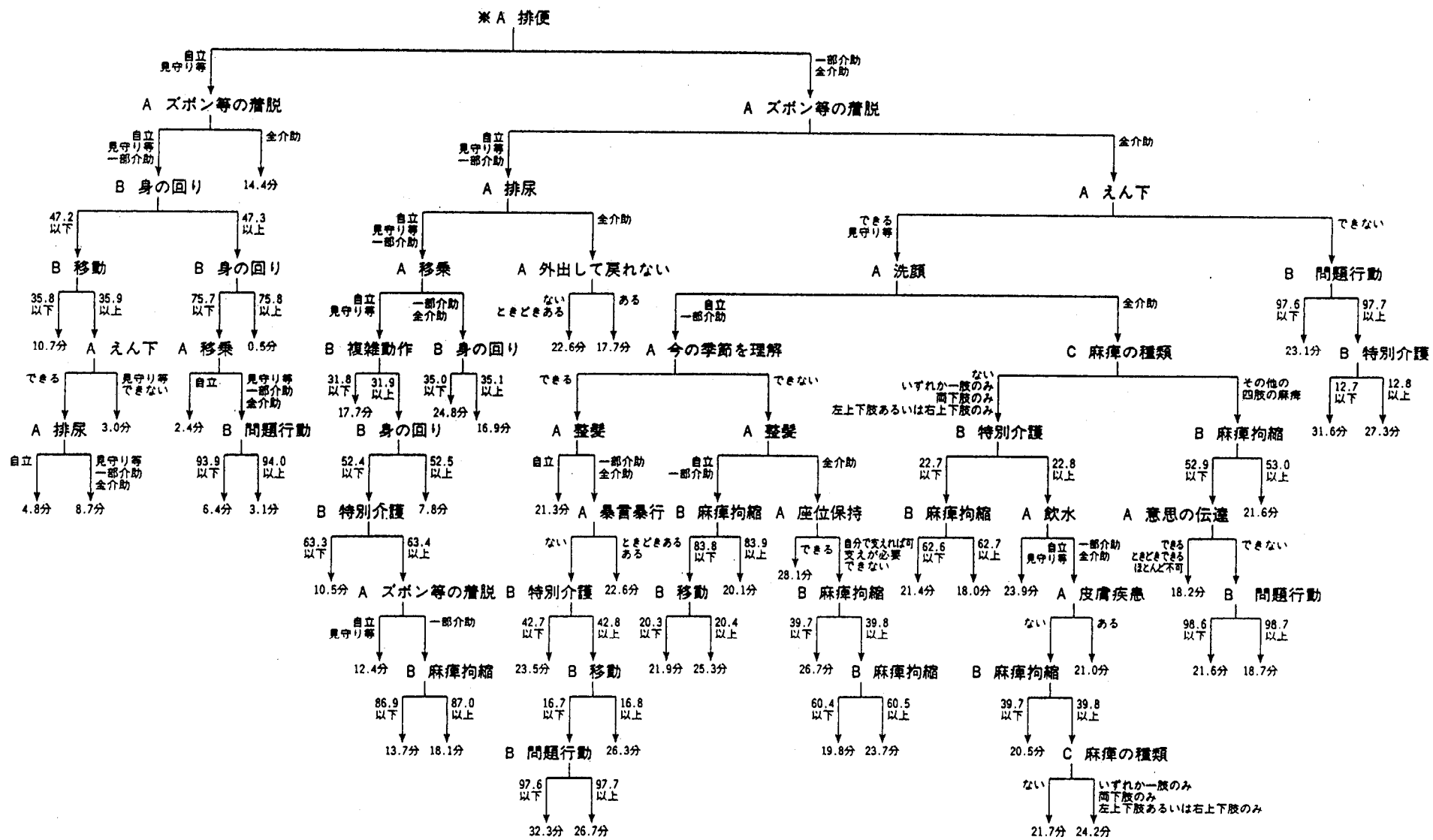
オ. 夜間不眠あるいは昼夜の逆転が	1. ない	2. ときどきある	3. ある
カ. 暴言や暴行が	1. ない	2. ときどきある	3. ある
キ. しつこく同じ話をしたり、不快な音を立てることが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
ク. 大声をだすことが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
ケ. 助言や介護に抵抗することが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
コ. 目的もなく動き回ることが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
サ. 「家に帰る」等と言い落ち着きがないことが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
シ. 外出すると病院、施設、家などに1人で戻れなくなることが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
ス. 1人で外に出たがり目が離せないことが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
セ. いろいろなものを集めたり、無断でもってくるものが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
ソ. 火の始末や火元の管理ができないことが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
タ. 物や衣類を壊したり、破いたりすることが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
チ. 不潔な行為を行う（排泄物を弄ぶ）ことが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
ツ. 食べられないものを口に入れることが	1. ない	2. ときどきある	3. ある
テ. ひどい物忘れが	1. ない	2. ときどきある	3. ある

8 過去14日間に受けた医療について、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

(複数回答可)

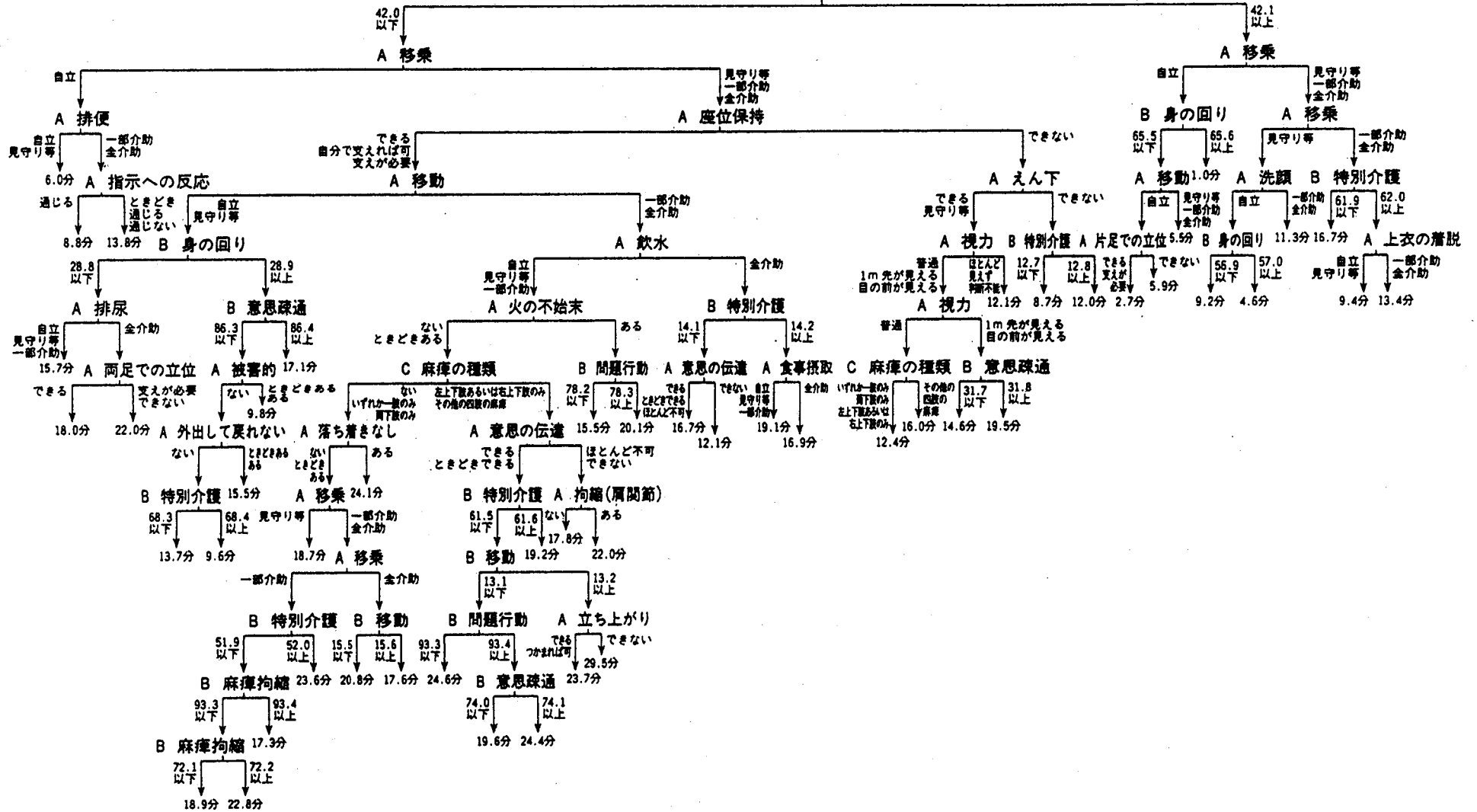
処置内容	1. 点滴の管理	2. 中心静脈栄養	3. 透析	4. ストーマ（人工肛門）の処置
	5. 酸素療法	6. レスピレーター（人工呼吸器）	7. 気管切開の処置	
	8. 疼痛の看護	9. 経管栄養		
特別な対応	10. モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）	11. じょくそうの処置		
失禁への対応	12. カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等）			

2 排泄

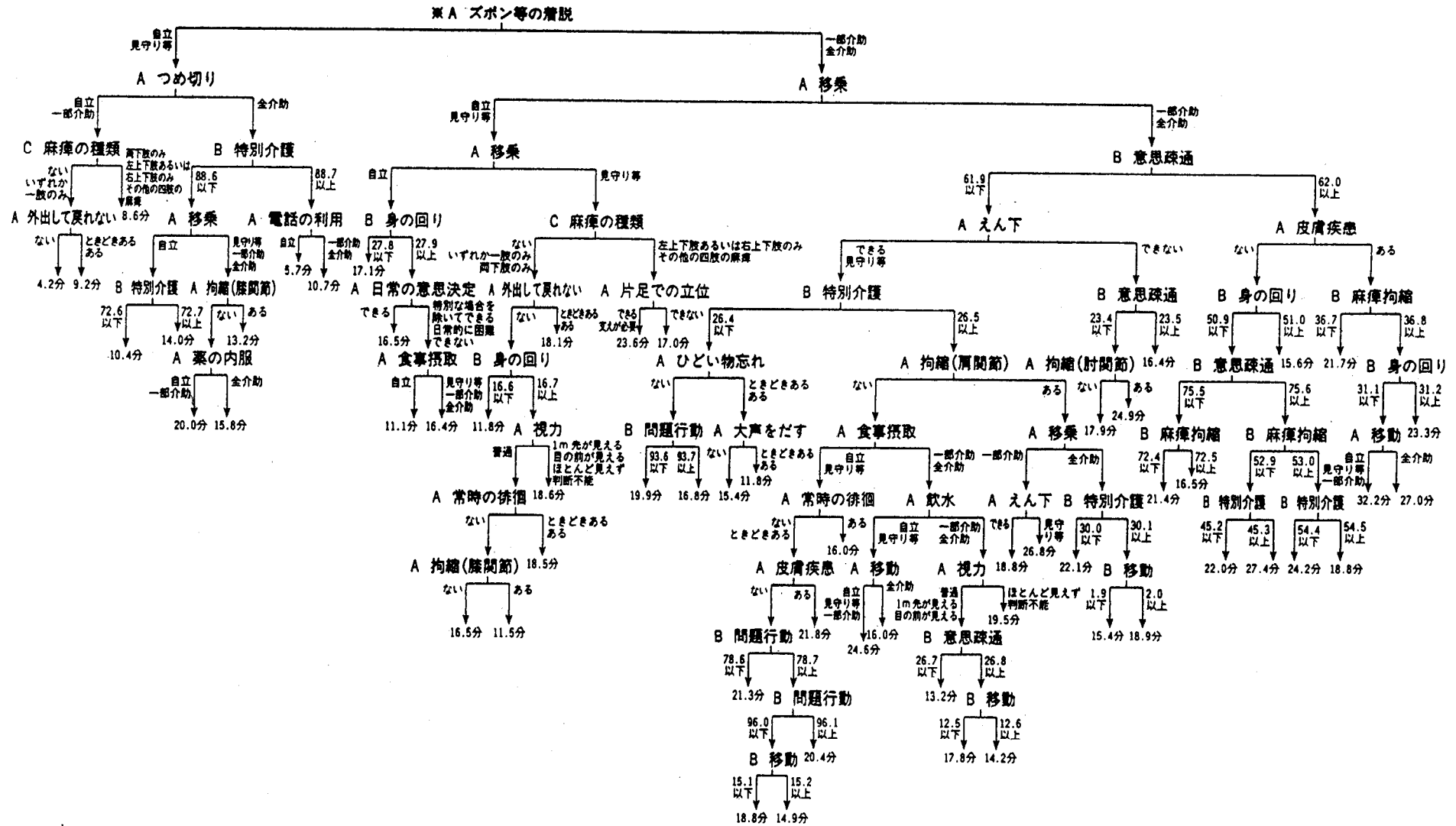


3 移動

※ B 身の回り

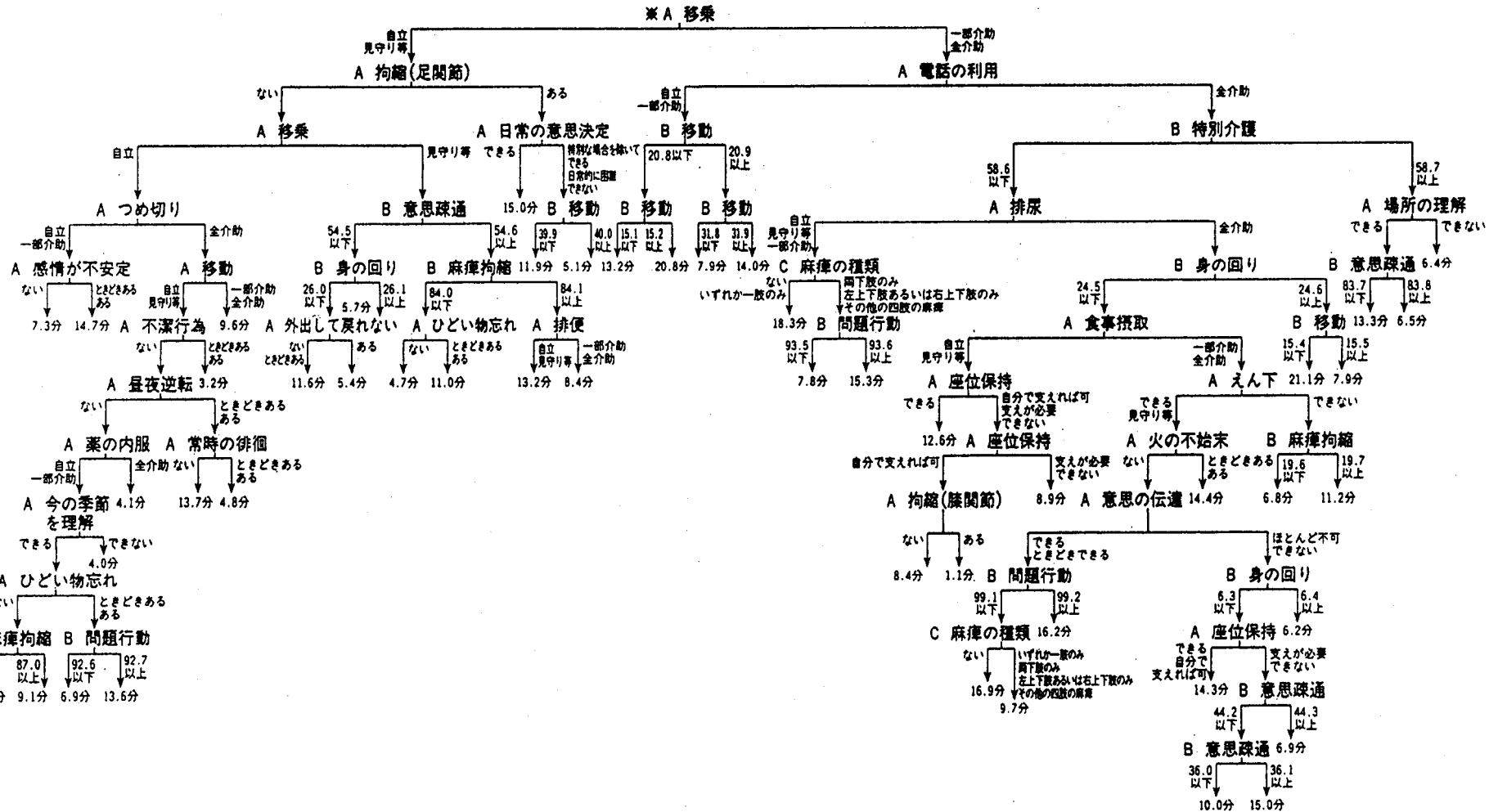


4 清潔保持



- 注 1. 最初に※が付された分岐について選択し、当該分岐に対する選択の矢印が指す方向の分岐へ進む。
 2. 次の分岐以降の分岐においても、1.と同様の作業を繰り返す。ただし、当該分岐に対する選択の矢印が指す方向に時間が記載されているときは、この作業は終了するものとし、当該時間をもって、この表により算定された時間とする。
 3. Aの分岐への選択は、調査結果に基づき行うものとする。
 4. Bの分岐への選択は、別表第八により算定される各群の合計点数に基づき行うものとする。
 5. Cの分岐への選択は、別表第九により選択される麻痺の種類に基づき行うものとする。

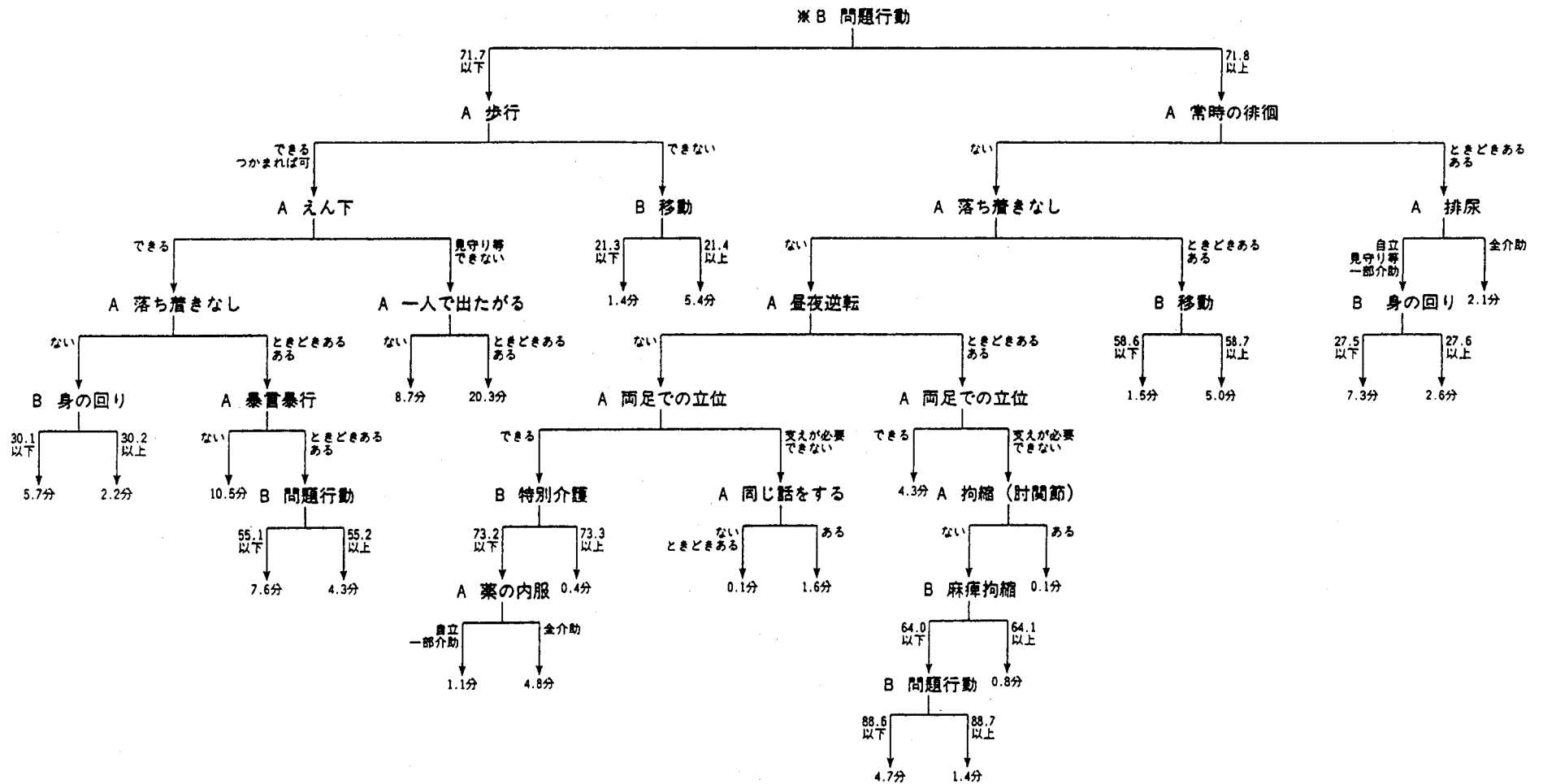
別表第三
間接生活介助



- 注 1. 最初に※が付された分岐について選択し、当該分岐に対する選択の矢印が指す方向の分岐へ進む。
 2. 次の分岐以降の分岐においても、1.と同様の作業を繰り返す。ただし、当該分岐に対する選択の矢印が指す方向に時間が記載されているときは、この作業は終了するものとし、当該時間をもって、この表により算定された時間とする。
 3. Aの分岐への選択は、調査結果に基づき行うものとする。
 4. Bの分岐への選択は、別表第八により算定される各群の合計点数に基づき行うものとする。
 5. Cの分岐への選択は、別表第九により選択される麻痺の種類に基づき行うものとする。

別表第四

問題行動関連行為

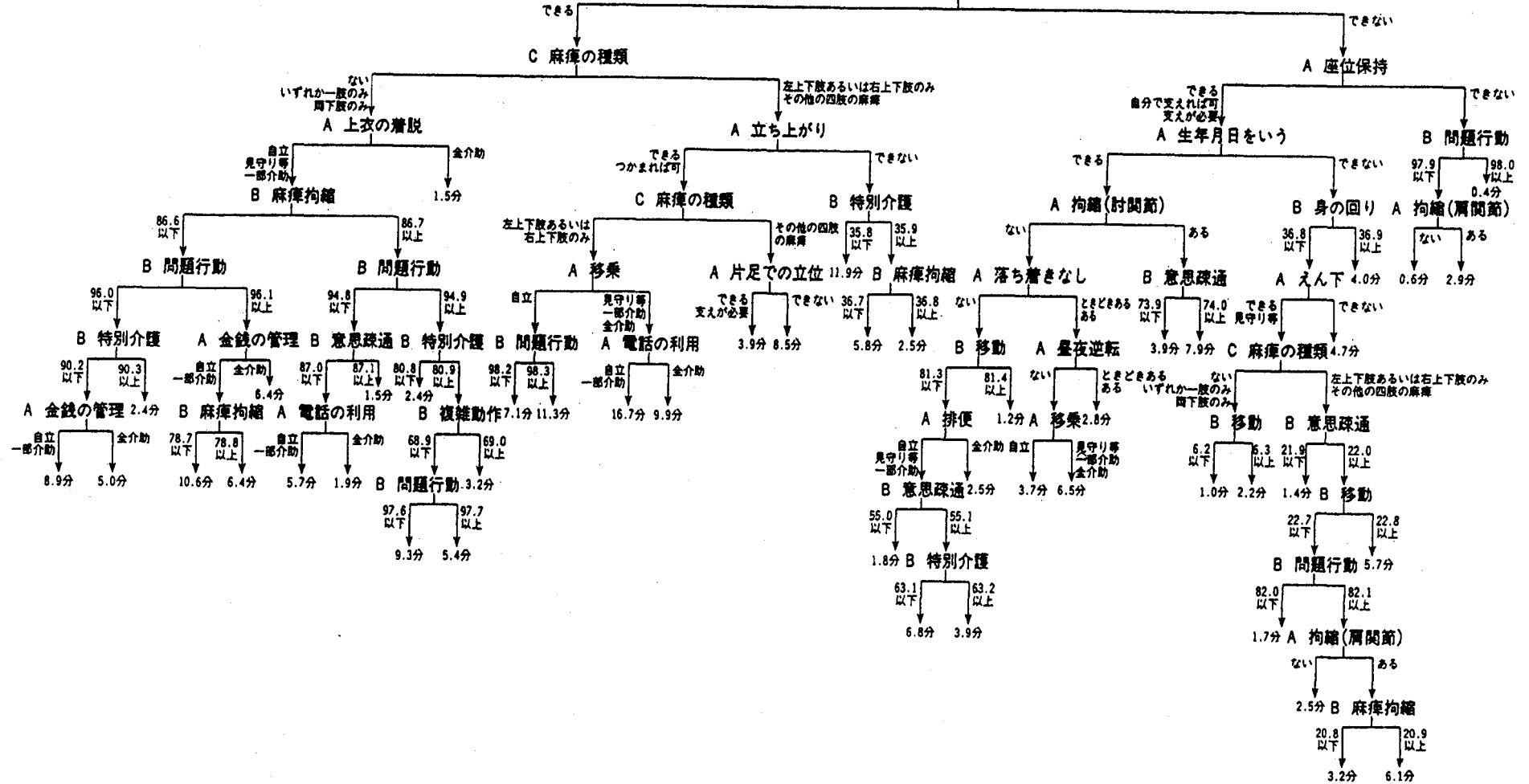


- 注 1. 最初に※が付された分岐について選択し、当該分岐に対する選択の矢印が指す方向の分岐へ進む。
2. 次の分岐以降の分岐においても、1.と同様の作業を繰り返す。ただし、当該分岐に対する選択の矢印が指す方向に時間が記載されているときは、この作業は終了するものとし、当該時間をもって、この表により算定された時間とする。
3. Aの分岐への選択は、調査結果に基づき行うものとする。
4. Bの分岐への選択は、別表第八により算定される各群の合計点数に基づき行うものとする。

別表第五

機能訓練関連行為

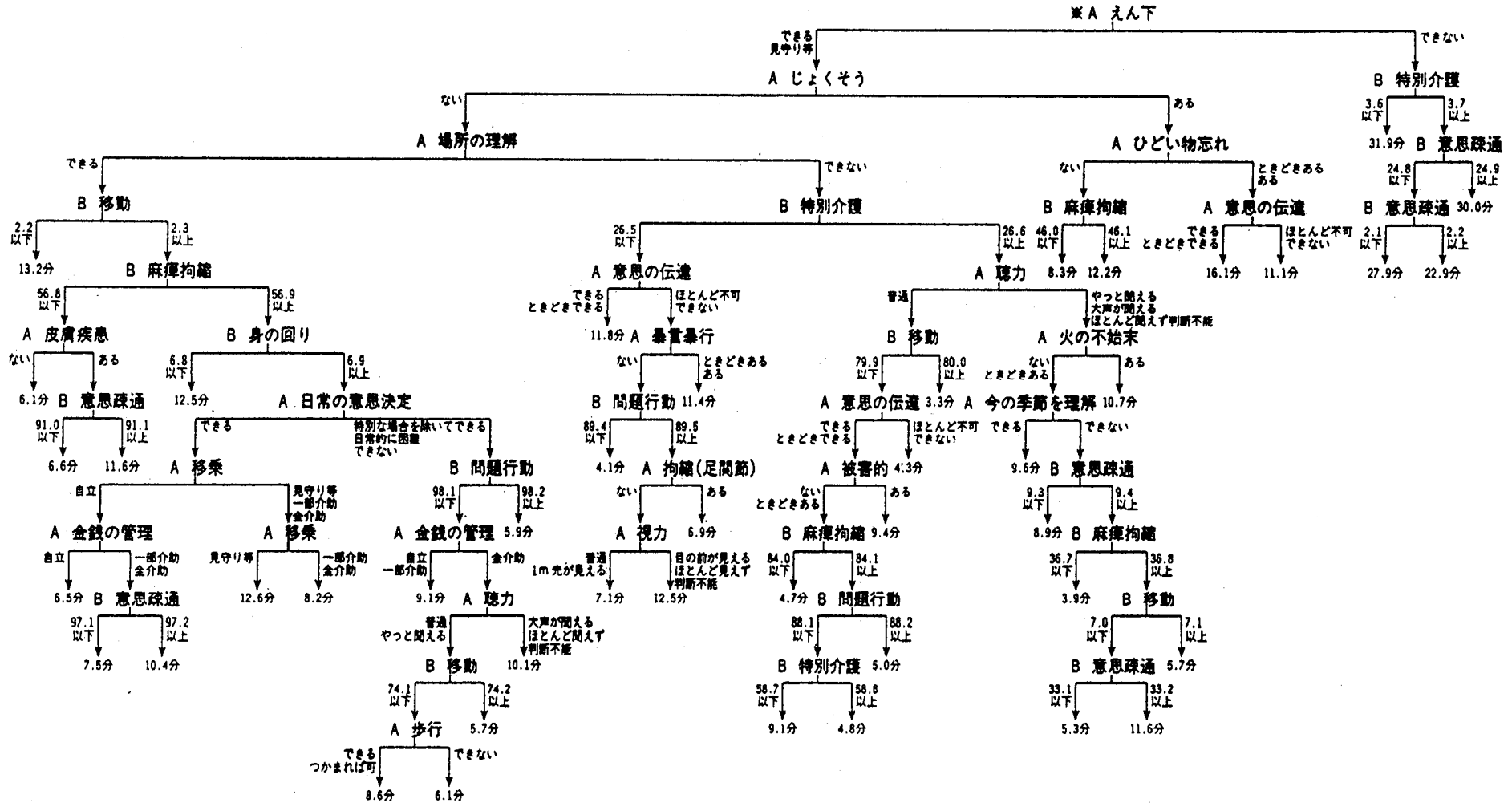
※ A 毎日の日課を理解



- 注 1. 最初に※が付された分岐について選択し、当該分岐に対する選択の矢印が指す方向の分岐へ進む。
- 注 2. 次の分岐以降の分岐においても、1.と同様の作業を繰り返す。ただし、当該分岐に対する選択の矢印が指す方向に時間が記載されているときは、この作業は終了するものとし、当該時間をもって、この表により算定された時間とする。
- 注 3. Aの分岐への選択は、調査結果に基づき行うものとする。
- 注 4. Bの分岐への選択は、別表第八により算定される各群の合計点数に基づき行うものとする。
- 注 5. Cの分岐への選択は、別表第九により選択される麻痺の種類に基づき行うものとする。

別表第六

医療関連行為



- 注1. 最初に※が付された分岐について選択し、当該分岐に対する選択の矢印が指す方向の分岐へ進む。
 2. 次の分岐以降の分岐においても、1.と同様の作業を繰り返す。ただし、当該分岐に対する選択の矢印が指す方向に時間が記載されているときは、この作業は終了するものとし、当該時間をもって、この表により算定された時間とする。
 3. Aの分岐への選択は、調査結果に基づき行うものとする。
 4. Bの分岐への選択は、別表第八により算定される各群の合計点数に基づき行うものとする。

別表第七

特別な医療

区分	番号	項目名	時間(単位:分)
処置内容	1	点滴の管理	8.5
	2	中心静脈栄養	8.5
	3	透析	8.5
	4	ストーマの処置	3.8
	5	酸素療法	0.8
	6	レスピレーター	4.5
	7	気管切開の処置	5.6
	8	疼痛の看護	2.1
	9	経管栄養	9.1
特別な対応	10	モニター測定	3.6
	11	じょくそうの処置	4.0
失禁への対応	12	カテーテル	8.2

注 調査結果(8の項目)に基づき、当てはまるものに係る時間を合計する。

別表第八

中間評価項目

群		項目		点数								
1	【麻痺拘縮】	麻痺	ない	16.0点	いずれか一肢のみ	13.3点	両下肢のみ	2.5点	左上下肢あるいは右上下肢のみ	3.5点	その他の四肢の麻痺	0.0点
		拘縮(肩関節)	ない	15.8点	ある	0.0点						
		拘縮(肘関節)	ない	21.9点	ある	0.0点						
		拘縮(股関節)	ない	16.3点	ある	0.0点						
		拘縮(膝関節)	ない	10.5点	ある	0.0点						
		拘縮(足関節)	ない	19.5点	ある	0.0点						
2	【移動】	寝返り	できる	14.5点	つかまれば可	3.8点	できない	0.0点				
		起き上がり	できる	14.2点	つかまれば可	2.2点	できない	0.0点				
		座位保持	できる	16.0点	自分で支えれば可	10.0点	支えが必要	2.6点	できない	0.0点		
		両足での立位	できる	14.3点	支えが必要	3.1点	できない	0.0点				
		歩行	できる	12.3点	つかまれば可	1.8点	できない	0.0点				
		移乗	自立	14.8点	見守り等	6.5点	一部介助	2.0点	全介助	0.0点		
		移動	自立	13.9点	見守り等	4.7点	一部介助	1.4点	全介助	0.0点		
3	【複雑動作】	立ち上がり	できる	39.4点	つかまれば可	9.1点	できない	0.0点				
		片足での立位	できる	31.7点	支えが必要	6.0点	できない	0.0点				
		洗身	自立	28.8点	一部介助	28.9点	全介助	5.9点	行っていない	0.0点		
4	【特別介護】	じょくそう	ない	11.8点	ある	0.0点						
		皮膚疾患	ない	1.9点	ある	0.0点						
		えん下	できる	21.1点	見守り等	7.5点	できない	0.0点				
		食事摂取	自立	18.8点	見守り等	9.0点	一部介助	5.3点	全介助	0.0点		
		飲水	自立	19.4点	見守り等	9.7点	一部介助	5.4点	全介助	0.0点		
		排尿	自立	13.6点	見守り等	4.2点	一部介助	2.5点	全介助	0.0点		
		排便	自立	13.4点	見守り等	4.1点	一部介助	2.6点	全介助	0.0点		
5	【身の回り】	口腔清潔	自立	11.0点	一部介助	6.4点	全介助	0.0点				
		洗顔	自立	11.1点	一部介助	6.3点	全介助	0.0点				
		整髪	自立	10.3点	一部介助	6.2点	全介助	0.0点				
		つめ切り	自立	7.2点	一部介助	1.4点	全介助	0.0点				
		上衣の着脱	自立	10.9点	見守り等	5.7点	一部介助	4.4点	全介助	0.0点		
		ズボン等の着脱	自立	10.5点	見守り等	5.1点	一部介助	4.2点	全介助	0.0点		

薬の内服	自立	11.4点	一部介助	4.7点	全介助	0.0点		
金銭の管理	自立	8.3点	一部介助	2.3点	全介助	0.0点		
電話の利用	自立	8.5点	一部介助	3.3点	全介助	0.0点		
日常の意思決定	できる	10.8点	特別な場合を除いてできる	6.4点	日常的に困難	2.9点	できない	0.0点

6	【意思疎通】	視力	普通	13.7点	1m先が見える	1.6点	目の前が見える	2.3点	ほとんど見えず	0.6点	判断不能	0.0点
		聴力	普通	15.1点	やっと聞える	3.4点	大声が聞える	1.4点	ほとんど聞えず	0.1点	判断不能	0.0点
		意思の伝達	できる	13.3点	ときどきできる	7.7点	ほとんど不可	3.5点	できない	0.0点		
		指示への反応	通じる	12.7点	ときどき通じる	4.6点	通じない	0.0点				
		毎日の日課を理解	できる	5.9点	できない	0.0点						
		生年月日をいう	できる	7.7点	できない	0.0点						
		短期記憶	できる	6.0点	できない	0.0点						
		自分の名前をいう	できる	11.1点	できない	0.0点						
		今の季節を理解	できる	6.8点	できない	0.0点						
		場所の理解	できる	7.7点	できない	0.0点						

7	【問題行動】	被害的	ない	5.2点	ときどきある	2.5点	ある	0.0点
		作話	ない	6.0点	ときどきある	3.3点	ある	0.0点
		幻視幻聴	ない	4.9点	ときどきある	2.5点	ある	0.0点
		感情が不安定	ない	4.0点	ときどきある	1.8点	ある	0.0点
		昼夜逆転	ない	3.4点	ときどきある	1.8点	ある	0.0点
		暴言暴行	ない	5.5点	ときどきある	3.2点	ある	0.0点
		同じ話をする	ない	3.9点	ときどきある	1.7点	ある	0.0点
		大声をだす	ない	5.2点	ときどきある	3.1点	ある	0.0点
		介護に抵抗	ない	4.6点	ときどきある	2.7点	ある	0.0点
		常時の徘徊	ない	6.2点	ときどきある	4.2点	ある	0.0点
		落ち着きなし	ない	6.1点	ときどきある	3.9点	ある	0.0点
		外出して戻れない	ない	6.1点	ときどきある	4.3点	ある	0.0点
		一人で出たがる	ない	7.0点	ときどきある	4.3点	ある	0.0点
		収集癖	ない	6.3点	ときどきある	4.7点	ある	0.0点
		火の不始末	ない	3.2点	ときどきある	0.5点	ある	0.0点
		物や衣類を壊す	ない	7.9点	ときどきある	5.9点	ある	0.0点
		不潔行為	ない	5.2点	ときどきある	3.8点	ある	0.0点
		異食行動	ない	6.5点	ときどきある	5.4点	ある	0.0点
ひどい物忘れ	ない	2.8点	ときどきある	0.4点	ある	0.0点		

注1 調査結果に基づき、各項目のうち当てはまるものに係る点数を各群につき合計する。

2 麻痺の項のうち当てはまるものの選択は、別表第九により選択される麻痺の種類により行なうものとする。

別表第九

麻痺の種類

番号	調査項目における選択肢				麻痺の種類
	左上肢	右上肢	左下肢	右下肢	
1	ない	ない	ない	ない	ない
2	ある	ない	ない	ない	いずれか一肢のみ
3	ない	ある	ない	ない	いずれか一肢のみ
4	ない	ない	ある	ない	いずれか一肢のみ
5	ない	ない	ない	ある	いずれか一肢のみ
6	ある	ある	ない	ない	その他の四肢の麻痺
7	ある	ない	ある	ない	左上下肢あるいは右上下肢のみ
8	ある	ない	ない	ある	その他の四肢の麻痺
9	ない	ある	ある	ない	その他の四肢の麻痺
10	ない	ある	ない	ある	左上下肢あるいは右上下肢のみ
11	ない	ない	ある	ある	両下肢のみ
12	ある	ある	ある	ない	その他の四肢の麻痺
13	ある	ある	ない	ある	その他の四肢の麻痺
14	ある	ない	ある	ある	その他の四肢の麻痺
15	ない	ある	ある	ある	その他の四肢の麻痺
16	ある	ある	ある	ある	その他の四肢の麻痺

注 麻痺の種類を選択は、調査結果(1—1の項目)に基づき、当てはまるものを組み合わせて行うものとする。